

## 営業の概況(連結ベース)

当中間連結会計期間の業績につきましては、資金の効率的な運用・調達、及び、経営全般の一層の合理化に努めるとともに、資産の健全性確保のために諸償却並びに諸引当金の繰入を行いました結果、以下のとおりとなりました。

### 1. 主要勘定の概況

預金等(譲渡性預金を含む)は、前連結会計年度末に比べ法人、個人預金ともに増加したことにより60,573百万円増加して、当中間連結会計期間末残高は3,944,503百万円(うち預金は3,826,607百万円)となりました。一方、貸出金は、地方公共団体向けや事業性貸出の減少により17,033百万円減少して2,697,334百万円、有価証券は、国債、地方債、社債の増加により46,578百万円増加して1,385,633百万円となりました。また、総資産の当中間連結会計期間末残高は4,344,656百万円で前連結会計年度末に比べて42,395百万円の増加、純資産額の同残高は256,296百万円で同1,441百万円の減少となりました。

### 2. 損益の状況

損益につきましては、市場金利の低下により資金運用収益は前年同期比1,257百万円の減少となったものの、国債等債券売却益や外国為替売却益等の増加によりその他業務収益が同1,645百万円増加したことから、経常収益は同154百万円増加して46,781百万円となりました。

一方、費用面は、資金調達費用(前年同期比1,163百万円減少)や営業経費(同510百万円減少)は減少したものの、与信コストの増加によりその他経常費用が同2,237百万円

増加したことから、経常費用は同667百万円増加の41,812百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比513百万円減益の4,969百万円、中間純利益は同1,060百万円減益の1,705百万円となりました。

### 3. キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3,174百万円減少し、46,491百万円となりました。増減額の前年同期比では、1,193百万円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の営業活動による資金は59,323百万円の増加で、前年同期比43,479百万円の減少となりました。この主な要因は、債券貸借受入担保金の減少及びコールローン等の増加であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の投資活動に使用した資金(資金の減少)は61,381百万円で前年同期比では64,664百万円の資金の増加となりました。この主な要因は、有価証券の売却による収入の増加であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の財務活動による資金は、配当金支払額を中心に1,101百万円となりました。なお、前中間連結会計期間には、劣後特約付社債の発行による収入(20,000百万円)があったため、前年同期比では19,986百万円の大幅な減少となりました。

### 主要な経営指標等の推移(連結)

	単 位	平成20年度中間期	平成21年度中間期	平成22年度中間期	平成20年度	平成21年度
		(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
連結経常収益	百万円	49,671	46,627	46,781	94,802	96,662
連結経常利益 (△は連結経常損失)	百万円	1,500	5,482	4,969	△ 17,073	8,881
連結中間(当期)純利益 (△は連結当期純損失)	百万円	532	2,766	1,705	△ 16,218	4,322
連結純資産額	百万円	236,133	245,012	256,296	218,948	257,738
連結総資産額	百万円	4,089,585	4,216,777	4,344,656	4,123,026	4,302,261
1株当たり純資産額	円	809.03	841.83	883.03	743.58	889.50
1株当たり中間(当期)純利益金額 (△は1株当たり当期純損失金額)	円	2.01	10.47	6.46	△ 61.40	16.37
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額	円	—	—	—	—	—
連結自己資本比率(国際統一基準)	%	9.93	12.31	13.27	10.34	12.42
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	10,498	102,803	59,323	△ 54,727	145,573
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 5,861	△ 126,045	△ 61,381	52,995	△ 162,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 1,180	18,885	△ 1,101	17,674	9,780
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	百万円	43,899	52,005	46,491	56,373	49,666
従業員数 [外、平均臨時従業員数]	人	2,603 [1,107]	2,713 [1,134]	2,733 [1,121]	2,544 [1,110]	2,638 [1,138]

(注)1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額は潜在株式がないため、また、平成20年度は1株当たり当期純損失を計上しているため記載しておりません。

3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国際統一基準を採用しております。

4. 従業員数は出向者を除いた就業人員であり、[ ]内は嘱託及び臨時雇員の期中平均人員(外書き)であります。

5. 平成20年度中間連結会計期間、平成21年度中間連結会計期間及び平成22年度中間連結会計期間の平均臨時従業員数は、第2四半期連結会計期間における平均雇用人員数であります。